

# みんなで 家庭教育！



## 子ども同士のトラブル、その時保護者は？

岐阜県では、「家庭教育プログラム」を使って家庭教育学級を開催することを勧めています。家庭教育プログラム?!何だか難しそう…なんて思われるかもしれませんがね。「家庭教育プログラム」というのは架空のお話を通し、参加者同士が話し合い、知恵を出し合い、作り上げる子育てサロン（交流）です。他の方の考えを聞き、へ～と思ったり、なるほどと思ったり、時には、私とは違うなあと感じたりすることを目的としています。正解や、間違いがあるわけではなく、考え方を広く知り、幅を広げることを大切にしています。

市内でも実際にこのプログラムを使っての家庭教育学級が開催されています。今回は、めぐみ保育園で行われた「家庭教育プログラム」を使ったサロンを紹介します。



今回のテーマは「子ども同士のトラブル」です。2歳のゆう君のこんな話でした。

**2歳のゆう君は、お母さんと児童センターに遊びに来ています。最近、走ることが楽しくてたまいません。センターでも、座って見ているお母さんと、滑り台の間を行ったり、来たり、ごきげんで走り回っていました。**

**そのときです。近くにいた女の子とぶつかって、二人とも転んでしまいました。じゅうたん敷きの部屋なので二人ともケガはありませんが、女の子は大泣きです。女の子のお母さんがびっくりして、とんできました。**

このお話を読んで、参加者は「自分がゆう君のお母さんだったら、どう対応するか？」を考え、グループ内で交流します。皆さんなら、どんな対応を思い浮かべるでしょうか？

めぐみ保育園では、こんな意見が出ました。

- ◇子どもの安全確認を第一に行う（怪我はないか、大丈夫か）
- ◇相手の女の子への謝罪（我が子と一緒に謝る）
- ◇女の子のお母さんへの謝罪（親同士の謝罪）
- ◇公共マナーを教える（走ると危ないこと、みんなに迷惑をかけること）

司会者が皆さんの意見を聞きながら、さらに我が子のびっくりした気持ちや、痛い気持ちを受け止めてあげることも大切にするとよいですねと付け加えました。また、立場を変えて、ゆう君ではなく、女の子のお母さんだったら…と考えることも対応の幅を広げるという意見もありました。

その後、グループ内で、自分が体験した子ども同士のトラブルや、その時の親の対応について交流しました。それぞれの年齢のお子さんが見えるので、トラブルの内容や対応も様々ですが、聞くことで一緒に考えることができました。

当日参加された方の感想を紹介します。

★子ども同士のトラブルも成長と共に増えていくかと思うと、ゾッとするが、これも大切な成長の一つだと思い、良いことも悪いことも話せる親子関係を作っていきたいと思った。

★将来、自分でトラブルと向き合って解決する力が作れるよう、今から親子で色々な事を話し合ったり、大人が口を出さず、見守る練習もしたりしていきたい。

★自分の子どもの気持ちを汲んであげるといいう事がすごく大事だと改めて思った。褒めることはできていても、悪いことをした時に子どもの気持ちをきちんと聞いてあげられていたかと反省です。今日はこの事に気づくことが出来て本当に良かった。

★トラブルがあった時はどうしても被害のあった子や親への対応を優先してしまって自分の子を叱ってしまいがちだが、自分の子の気持ちを汲む、いたわることも大事で、「自分で謝ることができる子に育てる」という言葉がとても響いた。

★お母さん達から、いろいろな意見が聞けて勉強になった。子どもがたくさん集まる場所はトラブルにつきものなので、頭ごなしに怒るのではなく、子どもの心に根付くように、優しく諭すことが大事だと気付いた。自分の子どもの気持ちも大切にしようと感じた。親同士で何かのテーマに沿って話ができると、いろいろな考えや経験を持っている方がみえて、参考になる。



子育てプログラムには、乳幼児期編と小中学校編があり、それぞれの年齢にあわせてお話が用意されています。(岐阜県家庭教育プログラムで検索してみてください)

小・中学生を対象としたお話も紹介します。(先日の家庭教育学級リーダー研修会で、リーダーの方々と体験したお話です)皆さんなら、どんな対応をするでしょうか?

**今までほとんど学校を休んだことがなかった〇〇さん。1週間前から「おなかが痛い。」「頭が痛い。」と言って、学校を休み始めました。毎日午後には、すっかり回復するようで「明日は学校行けるよね?」というお母さんの言葉に「うん」と小さくうなずきますが、朝になるとベットから出てきません。**

**最近では休みの日もほとんど出かけず、家の中でごろごろしている〇〇さん。「今までは休みの日は友だちと遊びに行っていたのに。お友達と何かあったのかしら?」と、お母さんは不安です。**

「どのご家庭にもあるある」というお話がそろっています。実際に起こりそうな場面を具体的にイメージしながら、こんな時、どうしようと考えることができるので、皆さんが同じ土俵の上で話し合うことができます。とっさにおきてしまうさまざまなトラブルへの対応を、落ち着いた状態で考え、他の方の意見を聞くことができるので、とても好評です。

このプログラムを取り入れてサロンを行ってみたいという園、学校はぜひ、ご相談ください。テーマの設定や司会進行のお手伝いもします!!

## ▶ 拡大家庭教育学級のご紹介 ◀

お子さんの成長に合わせて、親が家庭でできる性教育を教えてください。

「どう答えたらいいの?どこまで教えるべきなの?」という皆さんの迷いに先生が答えます。

- 講演テーマ: 「家庭で伝える生と性」
- 講師: 澤田 貴美子さん(公益社団法人 誕生学協会認定 誕生学アドバイザー)
- 日時: 12月19日(火) 10時~12時
- 場所: 福祉センター 1階大ホール
- 申し込み: 可児市役所 子育て支援課へ 電話、FAX、電子メール等で、  
氏名、住所、電話番号・お子さんの年齢(一般の方は不要)をお伝えください。
- 申込み期間 11月9日(木)~11月30日(木)
- 受講料 無料



可児市役所 子育て支援課  
親子まなび支援係 後藤 愛  
電話: 62-1111 (内線2437)  
FAX: 63-6751  
E-mail: kosodate@city.kani.lg.jp

